

ゆめ通信



7月28日 松本水輪花火大会

2~3 第16回松本水輪花火大会

4 **学生発** 学生の学びを活かした地域活動

5 **地域発** 地域から松大生へ



6 **松本大学が認定する** 地域づくりコーディネーターとは

7 **学生ゆめ** 梓乃森祭“ゆめひろば”開催しました!!

8 **Information**

考房「ゆめ」は社会貢献活動を行う学生を支援しています。地域の方からの「お願い」を松大生とともに創造しています!



学校法人松商学園

松本大学

“ゆめ”の由来…結芽「二つの芽を結ぶ場所」+夢+遊眼「遊び心の視点を持つ眼」

地域づくり考房「ゆめ」は、大学で学んだ知識や技術を学生が地域づくりの中で実践的に活かしていくことを目指しています。

産学官民協働事業

松本大学学生の若い力が発揮された 第16回松本水輪花火大会

梓川の兩岸にある旧波田町と旧梓川村の両町村が力を合わせて盛り上げてきた松本平屈指の松本水輪花火大会が7月28日、盛大に開催された。実行委員として松商短期大学部1年生5名が加わり、第16回を迎える今年は、産学官民協働による事業としてひと味違った運営方法を展開し当日を迎えた。

花火終了後の大渋滞を見たとき、こんなにたくさんの人たちを楽しんでもらうこの日のために私たちは今まで活動を行ってきたんだ。大きな事に関わらせていただき貴重な経験をすることができたことを改めて実感した。

野田 美波

意外と失敗から学べるものも多い、少しでも一歩前に出る努力をした時、人は成長してゆける。寄付活動を通して地域の方々と一緒に作りあげているんだという一体感を味わう事ができた。他の学生とも自然に打ち解けることができた。

小松 進一

各々が役割を持ち責任者として行動することで重圧は大きかったが、自分自身が大きく成長できた。

丁 霞

花火を行うためには見ている人の安全や費用のことなど多くの問題を実行委員の皆さんが考えてくれているおかげで、安全に楽しい花火大会が行われていることに気づいた。

清澤 智子



花火師・部会長・事務局・学生・教員による学内打ち合わせでは、プログラム、場内アナウンス、BGMの検討が行われた。

活動内容

- 5月 実行委員会に参加（梓川）
花火業者の選定（梓川）
- 6月 ポスターの選定（梓川）
稲村煙火店との打ち合わせ（学内）
- 7月 プログラム及び場内アナウンスの原稿づくり・
BGM検討（学内）
寄付集め（新村）
梓川高校放送部との
打ち合わせ（波田）
さいさい祭
松大ブース出店（波田）
片付け（波田）
- 8月 反省会



花火師のお話

学生の柔軟な発想、目線が新鮮!!

(有) 稲村煙火店
花火師 細田 雅大さん

普段大勢の人と話し合いの中で何かを進めていくことのない私達が、学生の皆さんと企画を進めていくのは、イメージが伝えられず苦労しました。しかし、打ち上げ前のアナウンス文と一緒に考えた点は、私では全く思いつかない意見をもらい、本当に貴重な経験となりました。学生の柔軟な発想、目線で一般の方にとっても分かりやすいアナウンスになったと思います。

今回はこちらで決めたテーマ「今昔物語」に沿って皆で企画しましたが、来年はぜひテーマ決めから一緒に考えていきたいですね!

花火部会長のお話

松本大学短大生との コラボレーション

松本水輪花火大会実行委員会
花火部会長 百瀬 衛貴男さん

今年の実行委員会での花火部会は、役員の人選から始める事になった。花火部会員は12人であったが、皆還暦近くの人たちだった。これからこのメンバーで部会の運営をどうしようと考え込んでしまった。

「そうだ!地域密着大学の松本大学がある。若い感性を取り入れた花火大会にしたら注目も集まるし、きっとよい花火大会になるだろう。」

知人の紹介で大学の福島先生を訪ねた・・・。

短大部学生たちとの話し合いの末、彼等の花火部会への参加が決まった。期待と不安がない交ぜになった事は否めないが・・・。

学生は次々と課題を乗り越え、その働きは目を見張るものがあった。特に寄付集めでは、未知との遭遇そのものだったであろう。学生達に新村地区を担当してもらった。冒険かもしれない。少し不安が頭をよぎった。担当の学生にメッセージを送った。その結果は・・・。それは上々のものであった。実行委員会としても、また学生達にとっても、そして花火大会は大成功のうちに幕を閉じた。

学生達は初めのうちは「どうしよう。」そんな雰囲気漂わせていた。そのうち「なあんだ。」と変わり、そして「良し。」に変わったと思う。最初は空を泳いでいた学生達の目が輝いてきたように感じた。自信がついたようだ。最高のコラボレーションであった。学生達に入ってもらった事により、花火部会内の雰囲気が明るくなった。そして何より、花火師選定の時には、しっかりとした意見を述べてくれ、昨年の花火師と交代する事となった。時々の色々な場面で重要な役割を果たしてくれた。

また来年もやるかいね。

事務局のお話

人と人との出会い

松本水輪花火大会実行委員会事務局
渡邊 かずみさん

平成24年夏、松本水輪花火大会実行委員としての参画で松本大学生と出会った。花火部会会議・花火業者と物語製作・寄付金集め・アナウンスの打ち合わせと、多岐に渡り一緒に活動をしてくれた。活動を通し、いろいろな大人達・業者・高校生・さまざまな人に出会えた。中には決して穏和な人ばかりではなかったと思う。でも、彼らや私にとっても出会わなければ思いの違い、考え方の違い、地域の事等気付かなかったと思う。この出会いの経験で学生達は人生や社会においての大切なことを学べたと思う。私にとっても広い視野、柔軟さ、思いやりの心が学べ、学生達に勇気と若さを貰えた出会いだった。



梓川・波田地区各々の地元太鼓連と松本大学「松風連」、信濃むつみ高校「朱雀」による太鼓の同時共演は、打ち合わせ時に提案し、開会式で実現。



国際交流クラブ協力によるジュース・おにぎりを出店!!完売。

松本大学地域づくり考房『ゆめ』産学官民協働事業とは

地域づくり考房『ゆめ』運営委員長・専任講師 福島 明美

松本大学には、地域から様々なニーズが寄せられます。高い専門知識が求められるものと地域に活力を育むために求められるものがあります。前者は、産学官共同事業として教員またはゼミ等が関わり進めていきます。後者は、考房『ゆめ』の産学官民協働事業として学生を核とし教職員がオブザーバーとして関わります。本学学生と地域との「連携」「協働」「共創」により展開しています。地域とは、行政・企業・NPO・自治会・学校等、地域にある様々な団体や機関をいいます。地域の課題解決に向け、学生と地域の方々が連携してプロジェクトを立ち上げ、その実行にあたります。ここには、教員がコーディネーターとして関わり、事業の充実化を図ります。

ゼロから一緒に創り上げることで、学生は地域社会の姿を知り、現状と地域課題に気づきます。活動することで、見えた課題を深く掘り下げて学ぼうとする学習意欲が生まれ、学びの視野を広げ、専門の学習に活かしていきます。(実践的な学習経験を専門的理論的な学習に反映) そのことで、さらに活動が充実し地域社会の問題課題解決の糸口を学びます。あわせて、責任感や自発性、協同、コミュニケーション能力など、社会的な面での成長や視野を広げることができ、交渉力・リーダーシップ・企画力など自己のスキルアップや将来設計への足がかりとなります。

また、地域にとっては、若者の活力が地域を元気にし、閉塞した地域に新たな考え方が生まれ、新たな視点で地域のおタカラが発見でき、活動を重層的に展開できます。また、次代を担う若者育成と若者の地域への関心を促すきっかけとなり、持続可能な地域づくりに不可欠な効果が育まれます。この事業は、学生・大学・地域の各々が得をするWin-Winの関係を目指しています。



学生の学びを活かした地域活動

大学そばにある昭和の趣を残した「みすずや雑貨店」をお借りして、地産地消をテーマに、学生の学びや経験を活かし地域の方々と交流する活動が始まった。

「ヘルシーメニュー」プロジェクトは、7・8・9月に月1回、地元の旬の食材を使い考案したメニューで「独自カレー」を作り、地域の方と交流した。「築夢屋」プロジェクトは、低農薬で安心安全な農産物や加工品の販売を6月から実施した。また、夏休みには、「夏に負けない!ビタミンの摂取方法とおうちで出来る簡単運動」と題して、栄養と運動両面からの健康教室や学生による手作りお菓子で交流するコミュニティ・カフェも開催された。学生が主体となって『地域のおタカラを活かす』場を創出し、地域の一員としての自覚と責任感を身につけている。

ここでは、様々な立場の学生が集い、自分の関心ある分野に関して、講義とは違った実践的で自主的に活動できる場である考房『ゆめ』を通して、同じ志を持つ仲間とともに楽しみながら、地域活動を繰り広げている。



地元の農家や高校と連携し、低農薬栽培の安心安全な食材をお届けする“築夢屋”ショップ



新村の野菜を使ってヘルシーメニュー開発

私たちヘルシーメニューは、学生がメニューを考案し、地域の方々が精神的にも身体的にも元気になっていただけるような料理を提供する事を目的に、みすず屋さんをお借りして活動してきました。地域の食材を使って料理を提供したいと考えていたところ、矢内先生から新村の“くれき野野菜クラブ”を紹介していただき、7・8・9月に新村産の食材を使ったカレーを提供することができました。みすず屋さんでカレーを提供する事によって地域の方々と交流を深める事ができ、良い機会になりました。

また、新村直売所の手伝いをさせて頂いている際、農家の方から芋ほりの提案をして頂き、収穫祭を企画しました。収穫した芋を焼き芋や芋煮にして味わう企画です。今回の芋ほりを通して、大学生との交流・地域の活性化を目指して地域の方々と交流ができればと考えました。今後、採れた芋を使ったメニュー開発やパーティーを農家さんと協力しながらしていけたら良いなと思っています。

健康栄養学科 2年 三宅 郁恵



広めたい健康教室

健康づくりには食事と運動が大切だと言われています。私たちは大学での学びを活かし、栄養や運動に関する知識を地域の皆さんに還元したいと考え、健康教室を開催しました。

今回は、楽しい縁側づくりプロジェクトが考案したメニューと健康教室の内容を合わせることで、来てくださったお客さんには相乗効果を与えられたと思います。当日の前半は広報が甘かったため、お客さん集めに苦勞し、予定通りのスケジュールでは動けませんでした。最終的には理想とする形で進められたので、今まで取り組んできた甲斐があったと感じました。3つのプロジェクトが協働して一つのイベントが開催できたことは、互いに刺激しあいながらそれぞれの良さを活かすことができたという点でプラスだったと思います。運動面と栄養面の双方から見た健康づくりは大切です。学生と地域の方との交流という目的も含め、これからも広げていければと思います。

大学院健康科学研究科 1年 小野 萌



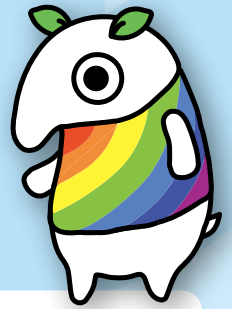
健康づくり広場やコミュニティ・カフェの講座を「みすずや」で行っています!

「コミュニティ・カフェ」プレオープン

私たち「楽しい縁側づくり」プロジェクトは地域の方がリラックスできる場の提供と、松本大学生と地域の方との交流を広げることを目的に活動しています。オープンに向けて、8月と9月に一回ずつお店をお借りして「コミュニティ・カフェ」をプレオープンしました。自分たちで作ったお菓子とお茶で来ていただいた方とお話しし、オープンに向けての要望や新村地域のことをお聞きする事ができました。

今後は、本格オープンを来年の目標にして活動していきたいと考えています。

健康栄養学科 1年 藤澤 美紗季



考房『ゆめ』は社会貢献活動を行う学生を支援しています。
地域の方からの「お願い」を松大生とともに創造しています！



子供とふれあい、子供と学ぶ ～新村児童センター～

新村児童センターからの依頼をうけ、地域の子供達とふれあい子どもたちと学ぶ事をテーマに「松本大学体験学習会」を企画しました。

事前に児童センターや学内の教務課・学生課・図書館・生協等と連絡調整をし、スタッフを集め準備を進めました。当日は、小学1年から6年生までの28人の児童と指導員他5人の来校があり、学食体験、図書館・体育館・講義室・研究室等の見学、そして私たちが特技を活かして企画したイラスト講座を体験して頂きました。イラスト講座は大学ならではの階段教室を使い、大学の授業の雰囲気を感じてもらいながら、各自好きな果物を立体的に表現する方法を学んでもらいました。今回の体験学習会を行うにあたっては、事前に新村児童センターに行き子供達とふれあい交流をかさねながらニーズ調整したり、自分達自身が大学を改めて知るために施設を歩きまわったり、苦労した事も多くありましたが、子供達の楽しそうな姿を見ることができ、大きな達成感がありました。改めて自分と地域を見つめなおし、大学生活では学ぶ事ができない、とても価値のある活動ができたと思います。

新村児童センター
松本大学体験学習会
～日程～

10:00～	会場準備
12:30～	出迎え・はじめの会
↓	
12:35～	学食体験
↓	
13:30～	図書館見学
↓	
13:45～	各教室見学
↓	
14:00～	イラスト講座
15:30～	お別れの会

高齢者との交流を通して 福祉の仕事学ぶ ～デイホーム楓～

高齢者の方との交流を通して、福祉の仕事学ぶ事を目的に、デイホーム楓に参加しました。

最初は会話も弾まず、利用者の方がしたい事が分からないため受動的になってしまいましたが、ニュースや祖母から昔の話題を集め、利用者とは話しながら感動を共有するように努めました。話をする事で私自身も楽しく、利用者の方も私たちが来る事を喜んでくださるようになり嬉しく思いました。また、スタッフの方との打ち合わせに参加し、積極的に意見を言い合う事もできました。

今回の活動で、認知症だから高齢者だからといってすべての事をやってあげるのではなく、やれる事は自分でやっていただく、できない事はできるようにサポートするという事を学びました。今後も認知症に対する適切な理解を呼び掛けていきたいと思います。

観光ホスピタリティ学科1年
眞島 里佳



観光ホスピタリティ学科2年
小栗 藍 木崎 成美

学生参加

図書館を地域の憩いの場に

今回私が「社会活動」の授業で活動させていただくことになったのは小さい頃から通っていた近所の図書館です。図書館教諭の資格をとっている事もあり、希望しました。“図書館を地域の憩いの場にしよう”をテーマに、図書館業務のお手伝いとイベントの準備、本の紹介POPの作成を行いました。私が作成したPOPの本はすぐに貸出になり、POPを見て話しかけてくださる方もいらっしゃいました。私の活動も少しは図書館に貢献できたのではないかと嬉しく思いました。

利用者の方たちが図書館の先生と会話をしている姿を多く見かけました。お話を聞いてみると、図書館に本を借りに来るというよりちょっと遊びに、お話しに来るとおっしゃっていました。初めての方も顔見知りや知り合いになって帰っていき、この図書館が地域の人と人を繋ぐ場になっていると感じました。

これからも、地域に愛されているこの図書館を利用し続けたいと思います。

観光ホスピタリティ学科2年 小松 綾奈



松本大学が認定する 地域づくり コーディネーターとは

地域づくりの要 今、求められる人材

松本大学では、より豊かな地域社会の発展を目指して、地域の問題・課題解決のために、**地域の資源(ヒト・モノ・コト)**を掘り起こし、**つなぐ役割を担う人材**。地域活動の実践者とともに、中立の立場で地域づくりをすすめる「地域づくりコーディネーター」を養成し、認定しています。23年11月から24年9月開催した第2期養成講座には、16人が受講し、9月の審査会を経て5人の方が認定されました。

今後、地域社会における地域づくりの活性化を目指し、今回の講座で得たコーディネーション力を発揮し地域づくりの要として尽力されることを期待します。

第2期 松本大学 地域づくりコーディネーター認定者 (あいうえお順)

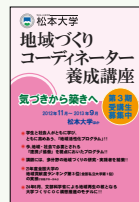
浅川三枝子さん(松本市)
ウッドタウン小宮町会20周年をふり返る
ふるさとかえる物語をコーディネート

小澤 悠維さん(安曇野市三郷)
認知症の正しい知識と理解の啓発をコーディネート

黒岩 秀美さん(長野市中条)
「高校生」と中条の「人と自然」が織りなす
地域づくりをコーディネート

戸枝 智子さん(伊那市高遠)
若者参加のまちづくり事業をコーディネート

山田 勇さん(塩尻市)
中信地域中間支援組織設立準備会での
「コーディネーターとしての大切にすべき8箇条」



“地域づくりコーディネーター” 第3期受講生募集中です!!

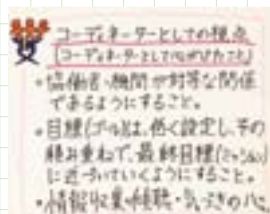
※詳細は考房「ゆめ」へお問い合わせください

講座を通して想いをカタチに

NPO法人アルウィズ
小澤 悠維さん(2009年3月卒業)

私は松本大学卒業後に、NPO法人が運営する認知症対応型のデイサービスに就職しました。2年が経ち、認知症を患う人たちやご家族が抱える様々な問題に直面してきました。何かしたいと思っている時にちょうど、地域づくりコーディネーター養成講座のお話を頂き参加することにしました。

養成講座を受けているうちに、アイデアが膨らみ、だんだんと形にしていけることができました。活動のテーマを「認知症の正しい知識と理解の啓発」として、私の勤めている“デイホーム”を活動の柱に置き、地域の方々や社会福祉協議会、松本大学とのネットワークの中でコーディネート実践を進めています。コーディネーションは、とても奥が深く、壁にぶつかることもあります。養成講座は終了しましたが、これからも地道に活動を続けていきたいです。



地域とのネットワーク展開図



講座で学んだ知識やノウハウを現場で実践

上伊那子どもサポートセンター 戸枝 智子さん

子どもの不登校をきっかけに、上伊那子どもサポートセンターの設立に関わって10年になります。官民協働による不登校支援活動としてスタートし、気がつけば身の丈を超える程に大きく育ってきました。さらに今年度は、新しい公共によるモデル事業「若者参加のまちづくり」協議会の事務局として、「協働」から「総働」による地域づくりに取り組むことになりました。松本大学の地域づくりコーディネーター養成講座は、学んだ知識やノウハウを即、現場で実践することができ、私にとって本当に心強いスーパーバイザーでもありました。ありがとうございました。事業を持続可能なものにしていくには、まだまだ多くのことを学んでいかなければなりません。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



若者目線で

松本大学生と伊那小学校児童との伊那市商店街まち歩きワークショップ



あすさのもり
梓乃森祭
 “ゆめひろば”
 開催しました!!



木々の葉も落ちかけ、だんだんと寒さが増してきましたね。皆さん、体調管理は大丈夫でしょうか? 今回の「学生ゆめ」は、秋といったら大学祭! ということで、松本大学祭である「梓乃森祭」での考房『ゆめ』の活動を特集します!!



松大生がつくる情報
 発信のページ

栄村産行者にんにくで商品開発!
 ~お菓子試食会~



- ① ええじゃん栄村
- ② 栄村産の特産品を利用した商品開発を行っています。商品開発に必要なアンケート調査と、栄村産米・味噌・ふるさと便の注文を受け付けています。
- ③ ご協力をお願いします!
- ④ 商品開発に興味がある人大歓迎! みんなで一緒に商品づくりを成功させましょう!

スタンプラリーで
 “聴こえない”を知る



- ① Sign
- ② 聴覚障がいについてより多くの方に知ってもらう活動をしています。
- ③ 手話を通して一緒に交流したいので、興味のある方はご連絡ください。
- ④ 手話に興味のある方、是非一緒に活動しましょう。

今年も人気!
 地元新村野菜の具たくさん豚汁



- ① ヘルシーメニュー
- ② 「食」を通して地域の方と交流しています。学生がメニューを考案して地域の方々に元気になっていただけるような料理を提供しています。
- ③ 「食」を通して一緒に交流しましょう! 料理教室などあれば、ぜひ呼んでください!
- ④ 「食べる」「料理」が好きな人募集中!!

★ゆめひろば★

ゆめひろばは、学生とOB・OGと地域の方々でつくる交流広場です。

梓乃森祭では様々な考房『ゆめ』のプロジェクトが展開しました。その様子と、プロジェクトからの一言を載せちゃいます!!

- ① プロジェクト名
- ② 活動内容
- ③ 地域の方への呼びかけ
- ④ 学生への呼びかけ

和の音を響かせる



- ① 地域交流和太鼓プロジェクト「松風連」
- ② 和太鼓で演奏をしています。少しでも日本の伝統を残していければいいなと思っています。
- ③ 現在メンバー大募集中です! 社会人も大歓迎。興味のある方は、考房『ゆめ』へご連絡ください。
- ④ 興味のある人はぜひ和太鼓を通して地域交流していきましょう!

地元の安心安全な野菜や加工品を販売



- ① 築夢屋プロジェクト
- ② 地元の農産物を販売することで、地域の活性化を目指しています。また、地域の人々が集う場所づくりを目指しています。
- ③ 買い物目的だけでなく、とにかくお店を見に来て下さい!! 学生一同皆さんのお越しをお待ちしております!!
- ④ 「農業を通じた地域活性化」「商業を学びたい人」「お客様の笑顔を見たい人」募集しています。

学生と地域の活動の軌跡を展示



- ① ゆめ撮影隊
- ② 考房『ゆめ』プロジェクトの活動撮影と地域の社会貢献活動撮影をしています。
- ③ いつでも撮影にかけつけますので、お声掛けください!
- ④ カメラやビデオ未経験の方でも参加募集中です!!

憩いの場提供♪



- ① 楽しい縁側づくり
- ② お店オープンに向けて、いちからメニューを考えたり、地域の方との交流を深めています。
- ③ 交流会などで会うことがあればたくさんお話ししましょう!
- ④ カフェに興味のある方と一緒に活動しましょう。

北新・松本大学前駅に

松本大学「大学と地域をつなぐ情報掲示板」を設置

多くの住民の方々が行き交う北新・松本大学前駅の駅舎入口付近に、アルピコ交通株式会社様のご好意により、松本大学「大学と地域をつなぐ情報掲示板」を設置させていただきました。この掲示板は、より多くの住民の方々に、学生が主体的に活動するイベントや大学主催のイベントに参加していただくための、広報の機会になればと考えています。

今後は住民の方々に目に留めていただける掲示板になるよう、掲示方法を日々工夫し、情報発信をしていきますので、ぜひご覧ください。

掲示板をご覧いただき、ご意見・感想等がありましたら、

地域づくり考房『ゆめ』
(TEL: 0263-48-7213)

までご連絡ください。

参加者
募集

松本大学キッズスポーツスクール

地域の子どものための健全な発育とスポーツの浸透、普及、および、幼少期から生涯をとおして体を動かす喜びを感じてもらうことを目指して開催します。

テーマ：『協力』…子ども達に仲間(友達)と一緒に行動する「楽しさ」を味わってもらう。

内容：子どもの発育、発達を考慮したスポーツやボール遊び。

開催日時：11月24日(土) 10:30~12:00

開催場所：松本大学第2体育館(当日はスタッフがご案内します)

対象者：3歳~6歳の男女(幼稚園児・保育園児)小学生でも構いません!

持ち物：体育館シューズ、飲み物、その他必要なもの(タオル、着替え等)

参加費：無料

申込み：3日前までに松本大学地域づくり考房『ゆめ』までお申し込みください。

こども広場

参加者
募集

松本大学こどもあそび隊が、親子・親同士のコミュニケーションづくりの場として、こども広場を開催します。

内容：野菜スタンプで大きい絵を描きます。

開催日時：11月24日(土) 10:00~11:30(予定)

開催場所：松本大学7号館

対象者：1歳~5歳児の親子

持ち物：カット野菜(野菜はお家で好きな形に切ってきてください)飲み物、動きやすい服装

参加費：無料

申込み：11月19日(月)までに松本大学地域づくり考房『ゆめ』までお申し込みください。

企画・運営
スタッフ募集松本市モビリティマネジメント事業
スタッフ募集

日常生活において公共交通に接する機会のない市民に対して、公共交通に触れる機会を創出し、今後の公共交通利用につなげることを目的とする。企画の立案及びイベントの運営スタッフを募集します。

内容：1. モビリティカフェ
2. 公共交通を使ったスタンプラリー 他

期日：平成24年11月~平成25年3月

場所：松本市内

主催：松本市交通政策課

ベーゴマを
塩尻で普及させよう!企画・運営
スタッフ募集

昔なつかしいベーゴマ遊びを地域に広げる為に、「ベーゴマ道場」や「ベーゴマ大会」を企画・運営するスタッフを募集します。子どもと一緒に遊びたい人、事業の企画運営を学びたい人、大歓迎!!ベーゴマ大会で優勝を目指すためひたすらベーゴマを練習するベーゴマお姉さん・お兄さんも募集中!

活動内容：塩尻のベーゴマ伝道師ペーヤンによる「ベーゴマ道場」に参加
年4回程度開催予定の「ベーゴマ大会」の企画運営
ベーゴマ初心者の方がベーゴマ大会で優勝するまでのドキュメント番組の制作

活動日時：ベーゴマ道場・大会は休日の昼間。企画会議はスタッフの都合にあわせ決定。

開催場所：塩尻市内の公園、平出遺跡等を予定。

つぶやき

安曇野市高家児童館の児童館まつりに参加してきました!!

200~300人の方が来館されていて、その人数の多さに驚きましたが、沢山の子どもと触れ合う事ができました。私はこども広場プロジェクトに参加しているので、今回、工作の種類、人の動き方、職員と母親の接し方、子どもへの対応の仕方を学びたいと参加を決めました。職員から母親へのコミュニケーションのとり方については大変勉強になりました。目的を持って参加した事で、自分にとって良い経験となり、今後もこのような場があれば参加したいと思っています。

スポーツ健康学科2年 高橋 健太

お問い合わせ、ご意見等は下記へご連絡ください。



松本大学 地域づくり考房『ゆめ』

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1
松本大学 7号館 2F

TEL: 0263-48-7213 (直通)

FAX: 0263-48-7216 (直通)

E-mail: community@matsu.ac.jp

URL: http://www.matsu.ac.jp/matsumoto_u/yume/

※開館日時：月~金 9:30~18:30